

# 緑樹

発行者  
清川村立緑中学校

所在地  
清川村煤ヶ谷 1933  
TEL 046-288-1241  
ホームページアドレス  
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

**体験に勝るものなし**  
校長 市川美紀子

この夏休みに、子ども達は様々な体験をしました。清川ホームサマーフェスティバルのお手伝い、青龍祭うろこ付けと本祭、洋上研修、高校訪問や受験勉強、美術館めぐり、社会体育活動、家の手伝い等々、どの体験も意義のある素晴らしいものです。

過日、八月二十三日(土)には、PTAふれあい行事として、除草作業を行いました。

小一時間の作業を終えた後の充実感は、汗だくの体操着に輝く生徒の笑顔を見れば一目瞭然。「やったー！感」が「疲れたー感」を圧倒していたのでした。

どんな事でも面倒くさがらずに、喜びの心をもって行ったなら、それは人間として力がつくことでしょ。喜びの心がないと、楽しい事が終わると幸せも終わってしまいます。

## 地域のボランティア活動に参加

七月二十七日(日)に行われた清川ホーム主催のサマーフェスティバルに今年も数多くの生徒たちが模擬店等のお手伝いに参加させていただきました。一時はどのうなるか心配だった雨も上がり、生徒会長の岩澤拓生さんが生徒を代表して意気込みを述べました。

生徒たちは担当する係を前半と後半に分けて活動しました。活動に夢中になって交代を忘れる生徒もいました。利用者さんとのふれあいが多かった利用者ボランティアの係を担当した一年生は、「あつという間に時間がたってしまったけれど参加できて本当に良かったです。来年も是非参加したいです。」と明るく話してくれました。



て息が一つもあがりません。活動場所が急ぐ生徒たち

喜びは困難を切り抜ける力になってくれます。喜びは、私たちに空を飛ぶための、翼を与えてくれます。」(太陽出版「52の美德エッセンス」より一部抜粋) 文頭に記した明確な場面はもちろん日常生活における小さな体験こそが人を創ります。部屋の整理整頓、庭掃除、洗濯物を干したり畳んだり、草取りをしたり・・・一見、「何を学ぶの？」と思われがちな事からこそ、創意工夫する力が培われるとも言われます。要は、手順ややり方といった手際が良くなったり、気転が利くようになるのだそうです。

七月末日、この夏も「広域連携中学校生交流洋上体験研修」に参加させていただいた生徒が、報告会のために大矢村長を尋ねました。二泊三日の研修を無事に終えた子どもたちの変容ぶりに、目を細めていらした大矢村長は、ご自身の豊富な体験もお話ししてくださいました。体験そのものの魅力や、そこで出会った人々との交流等、「つながり」の素晴らしさについてのお話に、納得した笑顔でうなずく子ども達の姿が印象的でした。今日から二学期です。日々の体験を大切に、大きく大きく成長してほしいです。

## 地域行事に参加して

### うろこづくりと青龍祭にフアイト

八月三日(日)、村の青龍祭保存会の方々に交えた青龍祭実行委員会を中心に、緑小学校体育館で「うろこづくり」が行われました。地域の方々をはじめ、小学生・中学生等の多くの参加者を得て、熱気あふれる作業がスタートしました。二時間経過する頃には骨組みにうろこが付けられ、二体の立派な龍が完成しました。

八月九日(土)、二頭の龍が緑小学校を出発し、青龍祭のパレードが開始されました。突然の降雨にもめげずに「ワッショイ」のかけ声を響かせながら、また、浴道から声援をいただきながら会場の運動公園へとゆっくりとそして力強く進み、今年も無事に昇龍の儀を行うことが出来ました。

保者の皆様のご理解とご協力のもと、多くの生徒が参加し、今年も地域行事を華やかに執り行うことができました。ありがとうございました。



うろこづくりの様子



公園に向かう二龍

